

1. インターバンク市場

8/24~28のインターバンク市場は、当座預金残高が概ね230兆円前後で推移した。特段の需給要因も無く、資金余剰地合いの中、無担保コールO/N物は、地銀、信託の調達が0.075%近辺で行われ、週末を挟んだ28日の取引では0.07%台後半の出合いも散見された。また、試し取りが週を通して行われたため、無担保コールO/N加重平均レートは若干高めでの推移となり、調達が多く見られた26日は0.08%まで上昇した。ターム物は大手行から2W物の調達が見られた。固定金利方式の共通担保オペは26日に3M・15,000億円、27日に3M・8,000億円、28日に3M・15,000億円がそれぞれオファーされた。応札額はそれぞれ9,350億円(期落ち分11,251億円)、1,560億円(期落ち分2,070億円)、8,450億円(期落ち分7,256億円)といずれも札割れの結果となった。

8/31~9/4のインターバンク市場は、1日に財政融資資金の回収、2日に税・保険料揚げ、普通交付税の払い等の資金需給要因が見込まれる。国債買入オペの実施を加味すると、週全体では若干の不足地合いとなる見通し。無担保コールO/N物は、引き続き0.07%台での出合いが中心になると予想する。主要なイベントとしては、31日のユーロ圏CPI速報、2日のページェブック、3日のECB定例理事会、4日の米雇用統計等が挙げられる。

2. オープン市場

8/24~28の短国市場は、品薄感が強く、閑散な状態が続いた。短国の入札は、27日に3M物が実施された。WI取引で▲0.007~▲0.006%の出合いが見られたこともあってか、平均落札利回こそ▲0.0056%となったものの、最高落札利回は▲0.0020%と概ね事前予想通りの結果となった。28日に実施された短国買入オペは、9月のマネタリーベース増大に寄与するため、8,000億円に減額されてのオファーとなった。結果は、按分落札利回較差+0.004% 平均落札利回較差+0.005%と、落ち着いた結果であった。

8/24~8/28のCP市場は、多くの業態からまとまった発行が実施された。27日が月末発行となったことで9,000億円弱の発行となり、週間発行総額は1兆5,000億円程度となった。発行レートは、CP等買入オペで需給が好転したためか、a-1格の期内物で0.09%台、期越え物は0.085~0.095%と、横ばいからやや低下となった。CP等買入オペは26日に実施され、按分落札利回0.084% 平均落札利回0.086%と前回(按分0.085% 平均0.089%)から若干低下した。

8/31~9/4の短国市場は、3日に3M物の入札が予定されており、引き続き低水準での結果が予想される。4日にオファーされると見込まれる短国買入オペのオファー額は、8月28日分とほぼ同額になるとみられる。CP市場は、3日にCP等買入オペが予定されている。対象銘柄次第ではあるものの、オファー額が4,500億円に増額されていることもあり、按分レートに大きな変化は無いと予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,900億円程度の還収超見通し。財政等要因は、1日の財政融資資金の回収、2日の税・保険料揚げ、普通交付税、地方特例交付金等があり、3兆200億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆7,300億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<31日>TB3M; 償還50,700億円・発行51,000億円 <2日>交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円<4日>交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/31 (月)	900	△ 3,200	△ 2,300	全店共通 (固) CP買入 ETF買入 国債補完供給	△ 2,100 △ 2,900 100	1,600 3,500 400	600	△ 1,700
9/1 (火)	1,000	△ 24,000	△ 23,000	全店共通 (固) 短国買入 国債買入	△ 7,300	8,500 8,000 5,400	14,600	△ 8,400
9/2 (水)	1,000	△ 8,000	△ 7,000				0	△ 7,000
9/3 (木)	0	2,000	2,000				0	2,000
9/4 (金)	0	3,000	3,000	全店共通 (固) 成長基盤強化	△ 7,200 △ 3,800		△ 11,000	△ 8,000
週間合計	2,900	△ 30,200	△ 27,300		△ 23,200	27,400	4,200	△ 23,100

(注) 上表の8/31は日銀予想、9/1以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/31 (月)	7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値 英国休日 (Summer Bank Holiday)
9/1 (火)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 24,000億円 9/24発行	7月の米建設支出 8月のISM 製造業景況指数
9/2 (水)	9月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 8月のマネタリーベース(日銀 8:50)		米ページェブック 7月の米製造業新規受注・出荷・在庫
9/3 (木)	青森県金融経済懇談会にて木内審議委員講演	TB3M 51,000億円 9/7発行	ECB定例理事会 7月の米貿易収支 8月のISM 非製造業景況指数
9/4 (金)	7月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 10:30)	流動性供給 3,000億円 9/7発行	8月の米雇用統計 4-6月期のユーロ圏GDP改定値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。